

平成 29 年 10 月 26 日

調 査 研 修 報 告 書 (議 員 用)

報告者：横路政之

実施場所：岡山コンベンションセンター	実施日：平成 29 年 10 月 24 日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） ・ 地方議会における公会計情報活用の新たな針路	
■参考とすべき事項 ● 統一的な基準による財務書類の公表により、経営状況が多面的に分析可能になる。 ・ 他と比較してどうか ・ 売却可能資産の状況 ・ 再建回収可能かどうか ・ 出資先の経営状況の確認 ・ 受益者負担はどうか ・ 債務返済は可能か ・ 世代間負担は公平か こういった項目が、住民・議会監査委員・市民オンブズマン・地方債投資家・金融機関などが分析可能になる。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・ 始まったばかりの感はあるが、透明性の確保の点では優れている会計制度であると思う。本市においても方向性をしっかりと示すべきではないか。	